

●SRM-T1/SR-Λ Signature/SR-Σ Professionalの接続方法について

SRM-T1は入力感度が100mVあり、いわゆるラインレベルの機器でしたら直接つなぐことができます。(CDプレーヤー、カセットデッキ、DATデッキ、チューナー等がつなげることになります。)またSTAXのイコライザー群(EMC-1、EMM-1、ECC-1)+PS-3(イコライザー用電源)に接続してアナログディスクを楽しむことも可能です。プリアンプ、プリメインアンプにつなぐ

場合は録音端子(REC OUT)に接続して使うのが音質的に最も優れていますが、音量が不足する場合はプリアウトへの接続も可能です。SRM-T1の入力端子は2組あり、パラレルに接続されていますから、片方を出力端子として使い、パワーアンプやテーブデッキに接続することもできます。

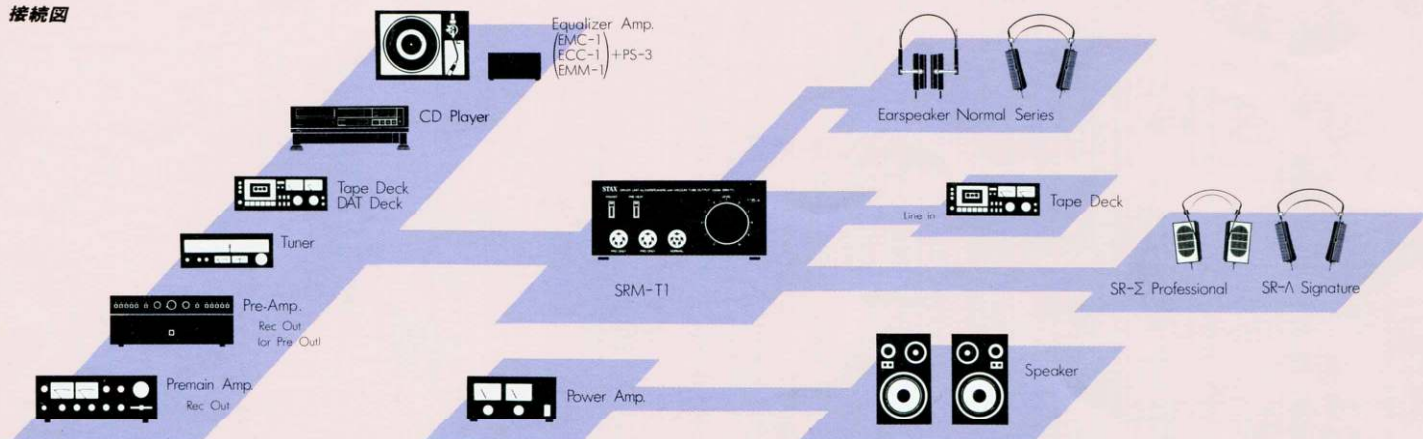
SR-Λ Signature/SR-Σ Professionalは

共にプロ・バイアス(580V DC)で使用するよう設計されていますが、ノーマル・バイアス(230V DC)でも鳴らすことが出来ます。この場合音量がやや下がり、音がソフトになります。SRM-T1以外のイヤースピーカー用アダプター、SRD-1/Mk2、SRD-X/Pro. 及び AクラスD C増幅ドライバーユニット、SRM-1/MK2 Professional、また高級プリアンプ付きドライバ

ーユニットSRA-14Sとの組合せでも、お使いいただけます。

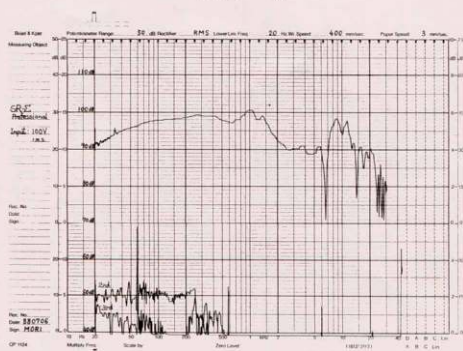
アダプターやドライバーユニットから離れてイヤースピーカーを楽しみたい方の為に延長コード SRE-Signature (PC-OCC 線使用) もございます。

接続図



SR-Σ Professionalの規格

- 形式 ————— パノラミックタイプ、プロバイアス、エレクトロスタティック(静電)型、プッシュプル方式
- 再生周波数特性 ————— 30~35,000Hz
- 静電容量 ————— 122pF(付属コードを含む)
- インピーダンス ————— 129kΩ/10kHz
- 音圧感度 ————— 93dB/100Vrms入力/1kHz
- 最大音圧レベル ————— 110dB/400Hz
- 成極電圧 ————— 580V/DC(標準)
- 重量 ————— 510g(本体400g)



SRM-T1の規格

- 周波数特性 ————— DC~20kHz/±1dB以内(100V rms出力/SR-Λ Signature1台使用時)
- 増幅度 ————— 60dB
- 高調波歪率 ————— 0.02%/1kHz(100V rms出力/SR-Λ Signature1台使用時)
- 入力インピーダンス ————— 50kΩ
- 定格入力レベル ————— 100mV/100V出力
- 最大出力電圧 ————— 300Vrms/1kHz
- バイアス電圧 ————— 230V, 580V DC
- 電源電圧 ————— AC100V/±10% 50~60Hz
- 消費電力 ————— 45W(通常使用時)、約10W(PRE-HEAT時)
- 寸法 ————— W195×H103×D375mm
- 重量 ————— 3.9kg

SR-Λ Signatureの規格

- 形式 ————— セミパノラミックタイプ、プロバイアス、エレクトロスタティック(静電)型、プッシュプル方式
- 再生周波数特性 ————— 7~41,000Hz
- 静電容量 ————— 122pF(付属コードを含む)
- インピーダンス ————— 129kΩ/10kHz
- 音圧感度 ————— 101dB/100Vrms入力/1kHz
- 最大音圧レベル ————— 118dB/400Hz
- 成極電圧 ————— 580V/DC(標準)
- 重量 ————— 450g(本体322g)

